

三島公民館だより

1月

— 平成17年 —



広見町最後の年は、多くの台風が上陸した年でした。お年寄りでも「初めて見た」というぐらい増水した台風22号通過時の広見川。生まれ変わる広見の里をきれいに洗い清めてくれたのだと思いたいものです。

鬼北町が誕生しました

三島公民館長 葛川 熊夫

広見町と日吉村の合併協議が整い、五十年間続いた広見町はその名に別れを告げ、いよいよ鬼北町の誕生となりました。

去る十二月十二日、広見町では、五十年の歴史を閉じる広見町閉町記念式典を催し、多くの関係者が集う中、去り行く町を惜しみ、そして「森がすすく、川がいきいき、人が元気」と誕生した新町「鬼北町」に新たな思いを掛けることにしました。

発表された鬼北町の組織及び機構では、三島公民館は従来どおり館長一人(非常勤)、主事一人と三月までは変わらない体制となりましたが、公民館運営審議会の委員については、1月をもって十名から六名に減員となりました。

当公民館の運営審議会は協力員制度を設け、委員のほか協力員さんにも審議に協力いただいています。先日の審議会でも、委員減員の分、益々協力員の在り方が重要になることなど色々と話し合われました。

新しく選任されます委員や協力員の皆さん、生涯学習社会の中、これからの三島の「人づくり・地域づくり」に益々のご協力よろしくお願いいたします。

いきいき三島をまよめ ひっぱってききたんた



週末には映画を上映していた三島村公民館（昭和28年建築・小松）

鬼北町三島公民館へと移行したことに伴い、これまで三島地区の発展や公民館事業推進のためにご尽力を頂いた歴代の館長をはじめ、自治会長・消防団長・青年団長など各団体長の皆さん、また地区出身の町長、町議会議員の皆さんをご紹介します。

三島公民館

昭和24年、社会教育法の制定により、公民館の設置と運営の基準が定められ、各町村で直ちに公民館が設置されました。しかし当時は施設や指導体制の整備が容易ではなく、その伸展は難かしい状況にありました。

そのような中、三島村では、26年度に公民館川上支館（木造・平屋建て25坪、請負・高知事務所）が竣工。28年には小松の地（現広見ガーマント）に、娯楽設備を兼ねた2階建て（121坪）の会館を建設し、同時に教育委員会事務局を置きました。

当時、他の地区では、公民館は役

場や中学校に間借りする、いわゆる青空公民館であり、設置後の館長には教育長、学校長が兼務する例が多かったようです。

その後、昭和30年に町村合併に伴う機構改革が行なわれ、町の出先機関である支所や連絡所の長が公民館主事を兼務することになったほか、公民館運営委員会が設けられ、各種団体との連携のもとで地域活動を展開していきました。

現在の建物は55年3月の竣工で、総事業費1億444万円をかけた近代的館として再建築されたものです。

歴代公民館長



初代

赤松 賢吉

- ①小松
- ②M22年3月1日
- ③S25年4月1日
- ④三喜雄さんの父



第2代

小川 正直

- ①延川
- ②M24年5月15日
- ③S26年4月1日
- ④元北宇和蚕糸会長



第3代

松本 義光

- ①小松
- ②M27年8月20日
- ③S27年11月5日
- ④元教職員



第4代

中山 和一

- ①宇和海
- ②M42年4月29日
- ③S31年4月1日
- ④当時の中学校長



第5代

松浦 忠男

- ①愛治
- ②M41年10月10日
- ③S34年4月1日
- ④当時の中学校長



第6代

時枝 実三

- ①広見
- ②M38年3月20日
- ③S40年4月1日
- ④元教職員



第7代

赤松三喜雄

- ①小松
- ②T15年3月31日
- ③S43年4月1日
- ④元農協組合長



第8代

岡本 次郎

- ①三間町
- ②T3年12月1日
- ③S45年4月1日
- ④当時の小学校長



第10代

野地 孝志

- ①川上
- ②T15年1月15日
- ③S47年2月1日
- ④喜三郎さんの父



第11代

本土 静馬

- ①小松
- ②T3年8月1日
- ③S49年11月1日
- ④元町役場職員



第12代

斯波 圭介

- ①下大野
- ②T2年5月7日
- ③S53年6月30日
- ④元下大野郵便局長



第13代

芝 弘

- ①小松
- ②T10年8月1日
- ③S59年4月1日
- ④元教職員



第9代

宇都宮 保

- ①小松
- ②T1年8月11日
- ③S46年4月1日
- ④元町役場職員



第15代

清家 定

- ①下大野
- ②S5年5月6日
- ③H4年4月1日
- ④元農協支所長



第16代

大川 實

- ①広見
- ②T14年8月1日
- ③H8年4月1日
- ④元教職員



第17代

葛川 熊夫

- ①小松
- ②S8年12月27日
- ③H12年4月1日
- ④元町役場職員



第14代

酒井 利一

- ①久保
- ②T6年4月20日
- ③H元年4月1日
- ④元町教育委員

第18代館長には

どなたが

就任されるでしょう

年 度	老人クラブ支部長		三島消防分団長		三島小PTA会長		三島自治会長		年 度
	氏 名	住 所	氏 名	住 所	氏 名	住 所	氏 名	住 所	
昭和30	<p>広見町老人クラブ連合会は、昭和34年に結成。40年から地区に支部を置き、それまで自主的運営をしていた単位老人クラブの育成指導が行なわれるようになりました。</p> <p>三島支部長として年度と共にはっきり記録に残っているのは昭和54年度以降ですが、それ以前に片岡重利さん（8年間）、松久保鉄馬さん（昭和43年）も、支部長に着任されています。</p>		松本 進	小 松	山口 兵馬	広 見	三島自治会		昭和30
31			小川 辰馬	延 川	山本 正充	小 松	昭和32年発足		31
32			兵頭 均	小 松	〃		松本 種満	小 松	32
33			〃		〃		〃		33
34			〃		〃		〃		34
35			〃		松本 種満	小 松	小川 辰馬	延 川	35
36			古用 昭男	川 上	〃		〃		36
37			〃		〃		〃		37
38			〃		〃		岡本 久則	小 松	38
39			〃		程内 秀夫	川 上	城下 玉木	延 川	39
40	〃		大川 安雄	広 見	薬師神久義	下大野	40		
41	〃		松崎 安興	川 上	渡辺 金恵	小 松	41		
42	〃		杉本 辰夫	川 上	〃		42		
43	菅 加寿一	小 松	〃		木原 義久	下大野	43		
44	〃		〃		渡辺 義住	小 松	44		
45	〃		〃		野地 孝志	川 上	45		
46	広見高砂会 32年発足		〃		松浦 茂	延 川	松本 恵	小 松	46
47	下大野鶴亀会 33年発足		〃		葛川 熊夫	小 松	〃		47
48	下大野寿会 43年発足		〃		松本 恵	小 松	酒井 利一	久 保	48
49	久保百寿会 38年発足		芝 茂	延 川	〃		葛川 則義	川 上	49
50	小松永寿会 39年発足		〃		小越 明	川 上	菅 加寿一	小 松	50
51	小松延寿会 39年発足		〃		二宮 吉日	小 松	中谷 秀夫	小 松	51
52	延川松竹会 39年発足		〃		〃		蛭谷寿々男	川 上	52
53	川上さくら会 39年発足		〃		杉本 和己	広 見	山本 俊夫	小 松	53
54	高田 真将	下大野	〃		松浦 幸司	小 松	上甲 清茂	下大野	54
55	山口 兵馬	広 見	清家 昇	下大野	〃		伊手 武好	川 上	55
56	〃		〃		木原 康之	下大野	山本 孝	久 保	56
57	須崎 栄徳	延 川	〃		芝 直義	小 松	古用 武行	小 松	57
58	高瀬 忠雄	下大野	高田 寛	広 見	〃		松本 茂樹	小 松	58
59	木原 義久	下大野	〃		清家 治	広 見	清家 俊夫	延 川	59
60	〃		〃		兵頭 敏和	下大野	西高 正夫	小 松	60
61	小越 正好	下大野	〃		〃		松久保 勇	延 川	61
62	〃		〃		松浦 力	小 松	井伊 利秋	下大野	62
63	葛川 則義	川 上	〃		程内 哲雄	川 上	西高 憲一	小 松	63
平成元	〃		〃		〃		渡辺 修	広 見	平成元
2	〃		小越 時夫	川 上	入舩 秀一	延 川	小越 薫	川 上	2
3	〃		〃		横山 健二	川 上	岡本 知幸	小 松	3
4	〃		〃		杉本 芳文	広 見	二宮 恒俊	小 松	4
5	〃		〃		古用 昭弘	川 上	杉本 和己	広 見	5
6	〃		山口 清志	延 川	程内 覚	小 松	程内 孝雄	川 上	6
7	〃		〃		中平 勝則	広 見	山本 善一	下大野	7
8	〃		松原 和雄	小 松	古用 史郎	川 上	富田 晃	広 見	8
9	〃		〃		松浦 靖	下大野	葛川 熊夫	小 松	9
10	〃		〃		瀧谷 繁勝	川 上	小田 哲夫	延 川	10
11	酒井 昇	延 川	〃		室 藤雄	小 松	水谷 恒	延 川	11
12	〃		野地喜三郎	川 上	松本 健治	小 松	杉本 芳文	広 見	12
13	〃		〃		井伊 和男	下大野	酒井 哲夫	久 保	13
14	〃		〃		白石 卓見	小 松	〃		14
15	〃		〃		本倉 寿晴	広 見	〃		15
16	〃		上砂 秀明	久 保	駄場 友好	川 上	松浦 昭	小 松	16

年 度	支所長・連絡所長		農協組合長・支所長		三島婦人会長		三島青年団長		年 度
	氏名	住所	氏名	住所	氏名	住所	氏名	住所	
昭和30	土居 忠雄	下大野	酒井 要	久 保	小川 良子	小 松	酒井 勲	久 保	昭和30
31	〃		〃		〃		芝 茂	延 川	31
32	〃		〃		〃		中山 寿雪	川 上	32
33	〃		〃		〃		杉本 善信	広 見	33
34	〃		〃		酒井 文子	久 保	松浦 彰一	小 松	34
35	宇都宮 保	小 松	高瀬 兵馬	川 上	小川 サダ	延 川	芝 直義	小 松	35
36	〃		〃		松浦 君子	小 松	松下 勇紀	川 上	36
37	〃		〃		〃		中町 達夫	久 保	37
38	〃		赤松三喜雄	小 松	山本 和江	小 松	松浦 和徳	久 保	38
39	〃		〃		谷口フサエ	延 川	須崎 舜示	延 川	39
40	古用 武行	小 松	〃		二宮 文子	下大野	山本 耕一	下大野	40
41	〃		〃		松本ミヤ子	小 松	芝 正樹	広 見	41
42	〃		〃		松本イソ子	小 松	兵頭 敏和	下大野	42
43	〃		〃		松崎 信子	小 松	高田 宗雄	小 松	43
44	〃		〃		〃		横山 健二	川 上	44
45	〃		〃		伊勢本清子	延 川	入船 秀一	延 川	45
46	〃		〃		藤田フジエ	広 見	〃		46
47	〃		〃		〃		東谷 耕一	小 松	47
48	〃		〃		坂中 敏子	川 上	松本 健志	小 松	48
49	〃		酒井 昇	延 川	酒井 悦子	久 保	高平 信一	延 川	49
50	〃		〃		蛭谷 寿子	川 上	五島 敬	下大野	50
51	〃		杉本 春義	広 見	伊藤 頼子	広 見	山本 典昭	小 松	51
52	葛川 熊夫	小 松	〃		〃		福入 忠幸	下大野	52
53	〃		松浦 茂	延 川	大川美喜恵	広 見	古用 敏彦	川 上	53
54	〃		〃		〃		滝谷 繁勝	川 上	54
55	善家 安香	小 松	清家 定	下大野	葛川志満子	川 上	葛川 菊雄	下大野	55
56	〃		〃		上甲 芳子	下大野	上甲 周二	下大野	56
57	〃		〃		芝 洋子	小 松	二宮 勇人	下大野	57
58	松本 俊一	小 松	〃		赤松 葉子	小 松	高田 真計	広 見	58
59	〃		池田 文男	広 見	〃		芝 雄二	川 上	59
60	〃		〃		清家 孝子	下大野	清家 健二	小 松	60
61	〃		清家 定	下大野	葛川 安子	川 上	都川 敏之	広 見	61
62	〃		池田 文男	広 見	渡辺 幸子	下大野	佐竹 誠	下大野	62
63	本倉 寿晴	広 見	〃		葛川 良江	小 松	芝 達雄	下大野	63
平成元	〃		〃		松浦英美子	小 松	米本 明	小 松	平成元
2	〃		〃		〃		小越 寿幸	川 上	2
3	〃		〃		杉本 聖子	川 上	〃		3
4	〃		杉本 正徳	広 見	程内チズ子	川 上	〃		4
5	松本 健治	小 松	〃		松浦ムネコ	延 川	〃		5
6	〃		〃		和田恵美子	延 川	佐竹 信重	延 川	6
7	〃		〃		松浦日出子	延 川	〃		7
8	〃		鈴村 直方	小 倉	松本 桂子	小 松	松浦 貴浩	久 保	8
9	野地 武光	川 上	古用 史郎	川 上	〃		〃		9
10	〃		松浦 靖	下大野	〃		〃		10
11	清家 健二	小 松	〃		小田美代子	延 川	〃		11
12	〃		〃		〃		松本 拓郎	下大野	12
13	〃		〃		伊手リツエ	川 上	〃		13
14	〃		〃		小田美代子	延 川	〃		14
15	坂本 誠	延 川	〃		〃		松本 真吾	小 松	15
16	〃		〃		坂中美保子	川 上	〃		16

※合併当初は三島支所という名称だった ※S48年7月合併三島支所となる

あの頃の三島地区

役場・学校・診療所
蚕糸工場・農協



三島連絡所 昭和37年に完成

三島村役場
村長だった赤松義光さん（延川）
所有の家を使用した



三島小学校
昭和33年 5月 三島小学校新築工事開始
昭和34年の児童数 本校683人 川上分校85人 御開山分校12人
昭和47年 3月 創立65周年を記念して校章・校歌ができる
昭和49年 4月 三島中学校舎へ移動



三島中学校
昭和26年 新校舎落成
昭和38年 体育館完成 昭和45年 プール落成
昭和47年 4月 名目統合により広見中学校三島校舎となる
昭和49年 4月 実質統合



御開山分校
昭和27年 1月10日 新築落成開校する 児童数15人
昭和52年 3月 閉校



川上分校
昭和32年 2月 新築工事完了
昭和42年 3月 分校閉校 本校と統合

三島出身 広見町長

初代

湯上 寛
(旧姓 野地)



M33年 9月 川上に生まれる
S 9年 11月 三島村長に就任
S 24年 5月 湯上家に入籍
S 26年 10月 媛銀近永出張所長
S 30年 4月 広見町長に就任
S 31年 5月 病没

第3代

酒井 要



M37年 7月 久保に生まれる
S 17年 5月 村議会議員当選
S 30年 4月 広見町議会議員当選
S 34年 4月 議会議長に就任
S 35年 5月 広見町長に就任
S 39年 5月 任期満了

三島出身 町議会議員

酒井 要 (久保)

田中 清 (下大野)

松浦 要 (下大野)

松本 勝義 (小松)

3期 S 30年 4月 30日 ~ S 42年 4月 29日

1期 S 30年 4月 30日 ~ S 34年 4月 29日

1期 S 30年 4月 30日 ~ S 34年 4月 29日

2期 S 30年 4月 30日 ~ S 35年 4月



昭和12年に完成した愛三製糸連合会（北宇和蚕糸の前身）の建物。保育園舎・中学校舎はまだ無い。



連絡所と併設して建てられた三島診療所（昭和37年完成）



昭和12年に開催された三島農業協同組合設立25周年行事。愛三製糸の落成式と合わせて行われた。



炭を満載にしたトラック。当時の重要な地元産物だった。後ろの2階建てが三島農協の本所建物。

三島診療所

- 昭和5年6月 下大野で開業した松沢医師が、小松地区へ出張診療、また村医として住民の医療に当たる。
- 昭和24年 松沢医師が病弱となり出張診療、往診等が困難となり無医村に等しい状況となる。
- 昭和25年4月 三島村国民健康保険直営三島診療所として発足。満州から帰っていた小川勇博士を初代所長に迎える。
- 昭和25年5月 日赤松山病院皮膚科・泌尿器科医長として勤務していた小川一二三医師を2代目所長に迎える。
- 昭和30年3月 合併により広見町国民健康保険三島診療所と名称変更。
- 昭和37年3月 連絡所と併設して新築
- 昭和55年2月 現在の診療所へ移転改築
- 昭和59年7月 和唐 功医師が3代所長に着任
- 平成元年7月 村上喜昭医師が4代所長に着任
- 平成4年6月 菊地良夫医師が5代所長に着任
- 平成6年6月 米野寿昭医師が6代所長に着任
- 平成8年6月 宮田靖志医師が7代所長に着任
- 平成12年6月 大塚伸之医師が8代所長に着任
- 平成14年6月 丹下敬忠医師が9代所長に着任
- 平成16年6月 兵頭 真医師が10代所長に着任

松久保鉄馬(延川)	1期	S 30年4月30日	~	S 34年4月29日
松浦章則(小松)	2期	S 30年4月30日	~	S 38年4月29日
高瀬兵馬(川上)	3期	S 30年4月30日	~	S 42年4月29日
芝虎雄(広見)	2期	S 34年4月30日	~	S 42年4月29日
松下茂(延川)	1期	S 34年4月30日	~	S 38年4月29日
高田真将(下大野)	2期	S 34年4月30日	~	S 42年4月29日
小川辰馬(延川)	8期	S 38年4月30日	~	H 7年4月29日
滝谷光男(川上)	3期	S 42年4月30日	~	S 54年4月29日
松本種満(小松)	4期	S 42年4月30日	~	S 58年4月29日
二宮正勝(下大野)	1期	S 42年4月30日	~	S 46年4月29日
薬師神久義(下大野)	3期	S 46年4月30日	~	S 58年4月29日
小越規雄(川上)	4期	S 54年4月30日	~	H 7年4月29日
松本恵(小松)	3期	S 58年4月30日	~	H 7年4月29日
松浦武一(下大野)	3期	S 58年4月30日	~	H 7年4月29日
渡辺芳友(川上)	1期	H 7年4月30日	~	H 11年4月29日
桐島森男(小松)	3期	H 7年4月30日	~	~
兵頭敏和(下大野)	3期	H 7年4月30日	~	~
程内哲雄(川上)	2期	H 11年4月30日	~	~

行事予定

— 1月 —

3日(月) 成人式
剣道スポーツ
少年団稽古始

4日(火) 御用始

— 2月 —

中旬から下旬にかけて
パソコン教室(8回)を
開催予定です。

あいさつ運動 始めましょう

地域の子供達を安全に健全に育むために私達ができること。その第一歩は「あいさつ」の交換ではないでしょうか。

言葉を交わすことで互いに顔見知りになる。それが子供達を犯罪や非行から防ぐ一つの力となります。

12月の公民館運営審議会にて「あいさつ運動」の必要性が提案され、今後公民館活動として取り組むよう確認されました。「地域全体がPTA」そのような気持ちで全員のご協力をお願い致します。

祝・祭日には国旗を立てましょう。

発行者

鬼北町小松1523

三島公民館

電話：48-0111

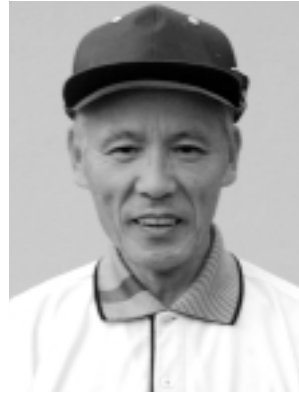
FAX：48-0303

鬼北町ホームアドレス

<http://www.town.kihoku.ehime.jp/>

縁があつて9歳の時から三島の地に定住。昭和23年愛治小学校から転校以来「イジメ」も無く皆で仲良くしてくれたいことが印象に残っています。

三島の良いところは、自然環境に恵まれていること。「戸祇山」をはじめ「御在所山」「成王瀬滝」「甌穴群」「天狗滝」「鍾乳洞」等



自助努力

和田 宣さん (延川)

三島に暮らす皆さんに、三島への思いを語っていただくこのコーナー。今月は前回の山本圭介さんご紹介で、現区長の和田宣さんに執筆していただきました。

リレー
エッセイ

我が愛しの三島

No.8

数えれば限りありません。四季それぞれの景色の変化は絶品、山菜類も豊富で更には鎌倉や戦国の世の史跡もそこそこあつて楽しむ所が多くあるようです。

また、子供から老人にいたるまで人情味があつて優しい人達ばかりで、治安もよく自由闊達に安心して住める所です。その上過去には愛媛銀行の創始者や四国電力の最高指導者、その他医学界、教育界、警察畑等での先駆者も多く輩出し、まじめで努力を惜しまぬ地域柄でもあります。

さて問題点。どこの地域でも同じですが、働く場所が少なく定住する若者が減少しつつあること、特に女性の在郷者が少なく結婚の機会も少なくなりつつあります。

それと高齢化が進み、福祉面の充実が課題となつていきます。とは云え、60〜80歳迄はまだまだ生産年齢と見てよいので、収入増を図る施設が必要となるのではないのでしょうか。

政治、行政の手助けが大事ではありませんが、とにかく自分で出来ることは自分でこなし、自分の住む地域は自分達で良くしていこうと云う意識を持つて行動することが大切だと思つていきます。



勤務歴11年

保健師の
古用悦子さん
— 異 動 —

平成5年から11年間9カ月、三島地区の保健・予防活動を続けてきた古用保健師さんが、合併に伴う職員の人事異動により、平成17年1月から本庁内介護支援センターへの勤務となりました。

後任には岡崎晴代さん(好藤地区出身・現在三間町に居住)が三島連絡所の駐在保健師さんとして着任しています。



勤務歴31年

簡易郵便局の
音地幸子さん
— 退 職 —

30代の頃

昭和48年4月から31年9カ月勤務させて頂きました。

その間お客さんに信用されること、貯金等で皆さんが不利益にならないようにと常に心がけてきました。お陰で人に支えられ地域に支えられ、今日の自分があるのだと感謝しております。

今後は、第2の人生、健康に留意し地域に恩返しをと考えております。長い間お世話になりました。